

市民生活の向上めざし

稻城駅の駐輪場の増設等について



岡田議員

問 駐輪台数を増やす取り組みが必要と考えるが、認識は。

答 市が管理運営をお願いしている公益財団法人自転車駐車場整備センターにおいて、稻城駅北口バイク駐車場を含めた台数割合の変更や、利用しやすい自転車ラックへの改修を本年度中に行う予定としており、駐輪可能な台数を増やしていく。

問 駐輪台数を何台増やせる予定なのか。京王電鉄や京王不動産に駐輪台数を増やす取り組みを求めるべきと考えるが、認識は。また、稻城駅の南口などにも駐輪場を整備するべきと考えるが、認識は。

答 現状より約50台程度増加が見込まれると聞いている。事業者に現在の状況を伝え、自転車

等駐車場の設置や増設などに協力いただけるようお願いしていただきたい。また、稻城駅南口への設置については、今後のまちづくりの動向や自転車の利用状況などについて引き続き注視するとともに、まずは必要に応じて、既存の駐輪場の改修などによる実質的な駐輪可能な台数の拡大やシェアサイクルの活用など、自転車の利用者への適切な対応を図っていきたい。

問 一時利用の台数が増えると自転車の利用者への適切な対応を図っているか。

答 一時利用として増加が見込まれるものと聞いている。また、改修工事は本年度中に行う予定と聞いている。

小中学校の生理用品の置き場所について



田島議員

問 児童・生徒が安心して学校生活を送れるように、また、ジエントー平等、女性の健康・人権に関わる問題として、生理用品

を女子トイレに設置することを求めてきた。当市議会でも生理用品をめぐる問題はテーマに何度も上がっている。また、全国の公共施設で、生理用品をトイレに設置したり、無償配布したりする取り組みが広がっている。したがって、学校のトイレに生理用品をトイレットペーパーと同じように置くことは、一般的な政策となっている。校長の判断で生理用品を女子トイレに設置している学校はあるか。

答 市立小中学校において学校長の判断で生理用品を女子トイレに設置している学校はない。

答 繰り返しになるが、各学校がそれぞれの状況に応じて適切な場所に設置するものと考へておると考えるが、認識は。

答 繰り返しになるが、各学校がそれぞれの状況に応じて適切な方針を策定することは考えていない。

問 教育委員会として学校のトイレに生理用品を設置するための方針や行動計画を持つべきと考えるが、認識は。

答 各学校がそれぞれの状況に応じて適切な場所に設置するものと考へているため、教育委員会が生理用品の設置場所に関する方針や行動計画を策定するとは考へていない。

問 市として学校トイレに生理用品を置くという統一した方針を持つ必要があると考えるが、認識は。

答 繰り返しになるが、各学校がそれぞれの状況に応じて適切な方針を策定することは考えていない。

バス利用者への取組について



つつのじ議員

問 稲城駅から市役所や市立病院までの延伸については。

答 稲城市地域公共交通会議で決定した「バスの新ルートである南多摩駅から稻城・府中メモリアルパーク路線において、稻

城駅から市役所および市立病院までの運行を予定している。また、コミュニティバス第3期見直しにおける見直し方針に基づき、路線バス事業者に対し、稻

城駅が終点となっている路線バス系統の市役所への延伸や、新百合ヶ丘駅から市立病院の路線の増便または稻城駅止まりとなっている系統の延伸を要望している。

問 既存路線バスの増便や延伸の要望を継続して行いたい。これに対し事業者がからは、運転手不足の状況は、採用などしておらず、バス事業者全体に工夫しても劇的に状況が変わらない。そこで、事業者は運転手確保状況などを見極めた上で検討したいと聞いている。

問 稲城市立病院経営強化プランに市立病院の利便性を高めるとあるが、考え方。

答 新たな患者の獲得を目的に掲げたもので、無料送迎便の実施に向けた検討にあたり、具体的な内容については、「バス第3期路線見直し作業、事業者に対する増便および延伸の要望の状況などを踏まえて、庁内関係部署と調整を行いながら、総合的に判断していく考えである。

問 路線バスの今後の方向性は。引き続き、事業者に対し、稻城市地域公共交通会議などに

答 各学校がそれぞれの状況に応じて適切な場所に設置するものと考へているため、教育委員会が生理用品の設置場所に関する方針や行動計画を策定するとは考へていない。

問 ジャイアンツタウンスタジアム開業により、車や人の流れにおける問題や課題などが生じたか。また、対応や対策は。

答 市は、ジャイアンツタウンスタジアム来場者に限定しての交通渋滞とは言えないが、ヨーロッパのイベントの開催などにより、一時的な交通渋滞が発生しているものと認識している。

問 実施のスケジュールは。

答 交通安全対策工事は、令和7年度中の工事完了を目指し、取り組んでいます。信号機設置の要望は、毎年度、市長自ら多摩中央警察署を訪問し、署長に直接要望している。令和7年度も、多摩中央警察署長に直接要望する予定である。

地域別将来推計人口を踏まえた稲城市の課題について



中田議員

問 自治会の役員が高齢化し、転入増により住民が増えても加入率は低く、活動の担い手は不足しているが、認識は。

答 自治会活動の担い手の負担軽減を目的にデジタル化が有効であると考えている。

問 若者の数が少なく、負担の大きい役割を背負わされてしまい。これに対し事業者がからは、運転手不足の状況は、採用などについて引き続き注視するとともに、まずは必要に応じて、既存の駐輪場の改修などによる実質的な駐輪可能な台数の拡大やシェアサイクルの活用など、自転車の利用者への適切な対応を図っていきたい。

問 既存の駐輪場の改修などによる実質的な駐輪可能な台数の拡大やシェアサイクルの活用など、自転車の利用者への適切な対応を図っていきたい。

問 施設、自主防災組織本部長会議などにおいての情報交換など、持続可能な共助の取り組みを推進している。

問 ランド線も交通量が増加することが見込まれることから、横断歩道橋を設置する予定である。

問 今後の交通安全対策は。

答 ヤオコー稲城南山店北西の交差点は、交通事故が連續して発生したことから、速度抑制を兼ねた交通安全対策を実施したい。同時に信号機の設置を要望している。

問 実施のスケジュールは。

答 交通安全対策工事は、令和7年度中の工事完了を目指し、取り組んでいます。信号機設置の要望は、毎年度、市長自ら多摩中央警察署を訪問し、署長に直接要望している。令和7年度も、多摩中央警察署長に直接要望する予定である。

問 災害時の通信インフラが断絶する可能性や、個人情報の管理と訓練が必要だと考えている。

答 まずは自助として、できる限りの行動を実践してもらおう。一方で、IC-Tなどを活用した効率のよい方法を確認する印象があり、IC-Tなどを活用した効率のよい方法が必要だと思うが、市の認識は。

問 若者の数が少なく、負担の大きい役割を背負わされてしまい。これに対し事業者がからは、運転手不足の状況は、採用などについて引き続き注視するとともに、まずは必要に応じて、既存の駐輪場の改修などによる実質的な駐輪可能な台数の拡大やシェアサイクルの活用など、自転車の利用者への適切な対応を図っていきたい。

問 既存の駐輪場の改修などによる実質的な駐輪可能な台数の拡大やシェアサイクルの活用など、自転車の利用者への適切な対応を図っていきたい。



▲市防災訓練にて自主防災組織が行った炊き出し訓練の様子